

別紙様式 3

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 土岐紅陵高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年5月28日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 土岐紅陵高等学校 総合学科棟3階 会議室
開催にあたり、委員による「演劇ワークショップ」参観を実施した。
- 4 参加者
会長 土本 泰 至学館大学職員
委員 伊藤 公一 美濃文山窯
加藤 直美 土岐市立西部こども園 園長 (書面参加)
加藤 美由紀 本校PTA副会長
神崎 弘範 土岐市立西陵中学校 校長 (書面参加)
後藤 淳 土岐市立下石小学校 校長 (書面参加)
土本 訓子 土岐市市民活動課 (書面参加)

※会議の開催及び協議については、欠席者から書面にて参加する旨を得ている。

学校側	田中 誠二	校長
	木澤 朗	教頭
	塩崎 勉	事務長
	金子 浩隆	教務部長
	坂崎 陽祐	生徒支援部長
	大宮 学	進路支援部長
	井上 裕美子	活性化推進部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校運営の基本方針等について

- ・「単位制教育課程」「総合学科」の特色説明
- ・校訓、校章の紹介
- ・教育目標、スクールポリシー、基本方針、運営の重点の説明
- ・各系列の説明及び日課の変更の説明

意見1：本校のカリキュラム構成の考え方は、自分の大学時代のカリキュラム構成に近い。大学時代は、学科やコースの枠を超えて授業選択ができた。自分の専門分野以外の、他分野の学びは、社会に出てから役に立つことが多々あった。専門分野以外の学びを如何に自分の興味・関心がある学びに結びつけることができるかが重要である。

意見2：人付き合い・モノづくりのための人間工学・コミュニケーション方法など、様々な学びを経験し、あらゆる学びを総合することで視点が変わる。本校の総合学科の学びを推し進めてほしい。

意見3：自分の好きな学び、幅広い進路、選択肢が広くあるカリキュラムでとてもよい。

意見4：保護者の目線で言うと、高校卒業後の子どもの様子や行動、人間関係の構築の仕方を見れば、高校時代の本校の指導は大きな効果があったと感じている。

別紙様式 3

(2) 学校概要説明について

- ・職員構成、運営機構
- ・生徒構成
- ・教育課程
- ・年間行事計画
- ・分掌説明（総務部、生徒支援部、進路支援部）

意見1：部活動帰りなどの下校時の身だしなみが、もう少し規律があってほしい。

意見2：路線バスのバス停が敷地内に設けられたのは、大変ありがたい。一方で、バスの敷地内の出入りと、保護者送迎による自家用車の出入り時間が重なり、心配な場面がある。一考をお願いする。

意見3：学校の情報発信について、HPに日々最新のトピックスが更新されている。PTA役員の視点から、頻繁にHPで学校行事の記事を目にしているが、一般の保護者はHP閲覧の習慣がない。見れば子どもたちの学校の様子が分かり、HP閲覧の機会も増えるのではないかと。もっと告知をした方がよいのではないかと。

- ➡ 「すぐーる」の登録率がほぼ100%なので、「すぐーる」とリンクさせて、HPが閲覧できるように案内している。

(3) スクール・ミッションの策定について

意見1：本校の概要がようやくわかってきた。今後の意見交換の中で、スクール・ミッション策定に向けて意見を出したい。

意見2：本校の独自性、スクール・ミッションから学校の様子が伝わるものができるとうよい。

- ➡ 逆説的に「本校がなくなったらどうなるか。この地域から、忽然とこの学校が消えたら……」と考えると「本校がどのような役割を求められているか？」が見えるのではないかと考えている。そういった観点からも意見がほしい。

(4) 演劇ワークショップ見学及びその他の意見について

意見1：高校生は不安定な時期であり、心身が安定しない。保護者の立場から、本校に求めるのは「不安定な生徒を上手く学校の中に取り込み、安定させて社会に送り出して欲しい。」である。そして、物事を安定させる鍵はコミュニケーションであると考え。

意見2：演劇で最も大事なことはボディランゲージである。「話す前に『表情で表す』『行動で示す』」ことを、どのように演劇ワークショップで高校生に伝えるのかを興味深く見た。

意見3：アクティビティの一つに注目すると、条件の違いによって「仲間の思いを汲み取る」「行動によってお互いのコミュニケーションを取る」との意図が読み取れた。演劇ワークショップは大変に興味深い。

意見4：1年次の早期に仲間づくりを進めるには、演劇ワークショップは効果的である。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会は、7人の委員（新任2人）で開催した。会長選出に続いて演劇ワークショップを見学した後に、会長を議長として議事を進行した。今年度の学校運営の基本方針等については、全委員より承認が得られた。多くの視点から意見を頂き、今後の学校運営に生かしたい。またスクール・ミッションについては、策定の意図を説明した。本校の存在意義を表現できるスクール・ミッションの協議を深めたい。

9月の第2回学校運営協議会では、新たに生じた課題とその対応及び前期の総括、スクール・ミッションの原案について協議する予定である。